

露出補正量の質問の回答

フィルムで撮影する人はフィルム現像の仕上がり後に露出等の確認となります。

ネガフィルム・・・・・・色の濃淡補正修正はプリントの作業時にできます。

リバーサル（ポジ）フィルム

- ・・・・スライドフィルムは学術研究記録用に作られており、色変わりしない事で映画や医療手術記録・教材スライドが作られていました。当然の事ですが現像はそのままの発色で濃淡補正はできません。又、高価になりますがリバーサルフィルムの紙焼きはできます。

リバーサルフィルムの感光材料は一度にすべての明るさを記録再現することは出来ません。ある一定の基準値を（18パーセント濃度反射板）定め、絞り値で換算すると5段ほどの明るさの幅で記録してくれます。

ネガフィルムの9から10段に比べて寛容幅が薄いので露出の決定には気をつけてください。色再現の範囲は「ラチュード」と言われています。



豊川稲荷

絞リ優先オート

補正 -0.5

補正 -1.0

回 答

スライドフィルム撮影時の補正は基準値からプラス・マイナス共に **0.5・1.0** をしてください。プラス・マイナスを 0.3 で補正をしても色の濃淡が少ない変化量で効果は見られません。

レンズの絞り環数字で F1.4 と F5.6 の中間がプラス・マイナス 0.5 の補正となります

F1.4 **-0.5** F 2.8 **-0.5** F4.0 **-0.5** F 5.6 **-0.5** F 8.0 **-0.5** F 11 **-0.5** F 16 **マイナス →**
F1.4 **+0.5** F 2.8 **+0.5** F4.0 **+0.5** F 5.6 **+0.5** F 8.0 **+0.5** F 11 **+0.5** F 16 **プラス ←**

撮影時の注意

被写体の大きさと背景になる色の濃淡と大きさとで補正をしてください。

写したい被写体の大きさと背景の色の濃淡差を見比べてください。

黒マイ 白アップ 黒マイナス・白アップ・プラス（被写体が基準です）